



当所会員で代表が青年部役員を務められている(株)インテグリティエナジー社は、三重県松阪市におけるバイオマスパワーテクノロジー(株)の立ち上げに尽力し、各種テレビやニュースで取り上げられました。

同社は木質バイオマス発電事業会社で、三重県を中心に発生する未利用森林資源を燃料として有効活用する発電出力1,990kWのバイオマス発電設備を保有。環境負荷低減や循環型社会形成への貢献のみならず、森林整備や雇用創出など地域経済活性につながる幅広い効果が期待されています。

(株)インテグリティエナジー社は、地域事業者主体の「ご当地電力」事業コンサルティングを得意とし、2013年12月にはかねてからの念願であった地元枚方において地域最大級メガソーラーシステムを計画通り稼働。地域愛に熱い情熱を燃やす代表の北角 強 氏に、その訳をうかがいました。



竣工式で挨拶する北角氏

青年部での出会いをきっかけにして、今の自分がいる

初めは青年会議所に入会を希望していましたが、創業した時すでに41歳だったこともあり、商工会議所青年部への入会を勧められました。起業したばかりで右も左も分からぬまま、青年部活動に参加。高校・大学と応援部に所属していたこともあり、ジュニエコ事業での司会を任されると声がよく通りうまいと評判に。その際、時の直前会長でいらっしゃった河本能久先輩と知り合い、枚方でのメガソーラー事業を企画するきっかけをいただきました。

河本先輩からは、「青年部事業でこれだけ頑張っている者は、本業であればもっと一所懸命にやっ

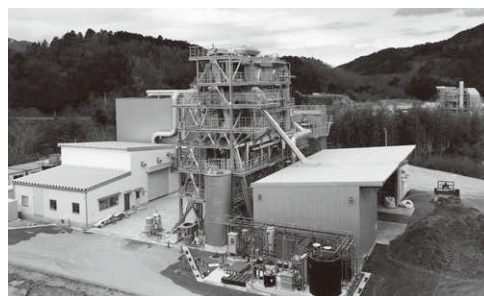
てくれるに違いない」「自分を育ててくれた土地を活用するメガソーラー事業を通じて、いい形で次の世代にバトンタッチしたい。それを任せられるのは青年部事業そして再生可能エネルギー事業に携わる君が最適だ」「この枚方の地・北大阪の地のご縁、子を育て人生を過ごす場所と仕事をする場所とが一致している、地域に根差すにおいてこれ以上の幸せなことはない」とのいまだに忘れられない言葉をかけていただき、商工会議所活動の何たるかを学ばせていただきました。青年部理事として、私が持っているもの、その限りを精一杯お返しさせていただこうと感じています。

この北大阪地域で目指すもの

今後の構想としては、北大阪地域での建替需要にともなう建築廃材や住宅廃材、剪定枝、いまや竹害ともいわれる生長の早い竹などを利用した都市近郊型バイオマス事業を考えています。それを近郊遊休地などで小規模分散型の熱電併給設備を動かすことで、地産地消のサイクルを築き上げられないか、と。そのためにも、現地のニーズや状況を把握するため、現場に出ていくことをモットーとしています。

現場にしか真実はない、その気概と前職のIT業で培った論理的思考を武器に、現場第一でエネル

ギーの視点から地域社会を束ねる「インテグレータ」の役割を全うしていきたいですね。



バイオマスパワーテクノロジー(株) プラント全景